

## 第 372 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和 3 年 6 月 1 日 (火) 11:00~12:40  
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室  
3. 番組聴取合評 [番組名] K-mix Wiz. (月・火分)  
[放送日時] 令和 3 年 5 月 18 日 (火) 11:30~14:55  
[出演者] 芦沢ムネト、鈴木愛実

4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 委員 小野晃司  
委員 服部乃利子 委員 加藤裕治

[会社] 代表取締役社長 今井学  
制作本部長 杉山啓充  
編成事業本部長代理 安田信章  
制作本部制作担当部長 寺田和史  
制作本部副部長 安原明子

### 5. 事務局報告

- 社長退任挨拶

### 6. 番組審議

[対象番組] K-mix Wiz. (月・火分)  
[放送日時] 令和 3 年 5 月 18 日 (火) 11:30~14:55  
[出演者] 芦沢ムネト、鈴木愛実  
[番組内容] 抜群のトークと最高の音楽。とにかく楽しい  
魔法のラジオ。それが K-mix Wiz. !

[聴取・合評での主な意見]

#### 小野委員

2 人の掛け合い、というよりは芦沢のペースに押し切られている印象。愛実による商品説明時に芦沢が茶々を入れ、言い間違いをからかうのがしつこく感じる。SDG s コーナーが、全体の中で浮き上がっていて馴染んでいない。放送時間も長く、5 分位がいいのではないか。番組のテーマ設定は上手。リスナーも送りたくなるような内容。今後に期待。

加藤委員 新番組という事で、芦沢の使命感が今は少し空回りしている印象。「いじり」と「合いの手」は違うのだが、芦沢はいじりが強く、世の流れと少しずれている。またオープニングトークも長さは適当だが、内容はこれからの課題だ。SDG s コーナーは今後のテーマが難しくなってきたと思う。一方で、若いリスナーが入ってきている状況はよくわかった。

服部委員 オープニングトークからスピード感があって、一気に引き込まれる。コーナー毎にいい意味でギャップがあり、個性を感じる。番組全体が楽し気で、リスナーも楽しんでいる雰囲気。愛実は明るくて伸び伸びとしており、好感度が高い。SDG s コーナーは長く、2回に分けても良いだろう。同じテーマでも切り口を変えてやれば良い。

木宮委員長 現状の課題について、率直な意見が出た。昼の王道らしい番組で、雰囲気が良くなった。芦沢のボケに愛実が突っ込み切れず、乗ってしまう事もありダラダラと話が続いてしまうのがくどさに繋がるのかもしれないが、これも個性の1つでポジティブなポイントとも言える。突っ込みてきにSEを使うのも1つの方策かもしれない。SDG s コーナー、電話出演で13分は長すぎてリスナーの集中力が持たない。事前収録で編集するのも考え方だ。今後、公開放送などいろいろな可能性がある番組だ。

会社サイド 前回(第371回)ではユーコの落ち着いたトークなどを評価頂いた一方、共感力の不足や上から目線の話しぶりなどについてご指摘頂きました。今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

次回開催日 令和3年7月6日(火) 11:00~13:00を予定

以上

番組審議会委員長

木宮敬信

